

防災対策・非常時持ち出し品の準備&チェック

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

家の中の安全対策

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる
部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。



寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない
就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



家具の転倒を防ぐ
部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。

安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

非常時持ち出し品(例)

- 携帯ラジオ**
 - ラジオ
 - 電池 (多めに用意)
- 救急医療品**
 - 常備薬
 - 鎮痛剤
 - 傷薬
 - 包帯
- 貴重品**
 - 現金
 - 預金通帳
 - 印鑑
 - 免許証
 - 健康保険証
- 懐中電灯**
 - 懐中電灯 (できれば一人にひとつ)
 - 電池 (多めに用意)
- 非常食品等**
 - 火を通さなくて食べられるもの、食器など
 - 非常用食品
 - 缶切り
 - 缶詰
 - 缶詰
 - ミネラルウォーター
 - 紙コップ
- その他**
 - 衣類 (下着・上着など)
 - 生理用品
 - 離乳食
 - ウェットティッシュ
 - ラップフィルム (止血や食器にかぶせて使う)
 - 防災マップ (本書)
 - タオル
 - 乳幼児製品
 - カッパ
 - ライター
 - 携帯電話の充電器

非常時備蓄品(例)

災害復旧までの数日間 (最低3日) を生活できるようにチェック☑しましょう。

- 飲料水**
 - 飲料水としてのペットボトルや缶入りのミネラルウォーター (1人1日3リットルを目安に)
 - 貯水した防災タンクなど
- 非常食品**
 - お米 (レトルト・アルファ米も便利)
 - 缶詰・レトルト食品
 - 梅干し、調味料など
 - ドライフーズ・チョコレート・アメ (菓子類など)
- 燃料**
 - 卓上コンロ
 - ガスボンベ
 - 固形燃料
- その他**
 - 生活用水 (風呂・洗濯機などに貯水)
 - 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
 - 調理器具 (なべ・やかんなど)
 - パケツ・各種アウトドア用品など

警戒レベルについて

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示(注)
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベルは必ず発令されるものではない。
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて、普段の行動を見直し始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである。
(注) 避難指示は、令和3年の火災法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する。(図表は内閣府ホームページより抜粋、編集)

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。警報から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

風水害・台風

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

まずは、確実な情報が大事。その次に迅速な対応。



大雨情報をキャッチ!
こんなときのわが家の安全対策。

大雨注意報	大雨警報	大雨特別警報
大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがある場合	大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがある場合	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表

雨の強さと降り方				
10mm以上~20mm未満	20mm以上~30mm未満	30mm以上~50mm未満	50mm以上~80mm未満	80mm以上~
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらしい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が溢れやすくなる。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方				
10m/秒以上~15m/秒未満	15m/秒以上~20m/秒未満	20m/秒以上~25m/秒未満	25m/秒以上~	
風に向かって歩かなくなる。傘が飛ばない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れるはじめる。	

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上~800km未満	強い	33m/秒以上~44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上~54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上

津波・高潮

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分後を目処に津波警報(大津波、津波)または津波注意報を発表します。

津波警報・注意報の種類

※津波警報は特別警報に位置付けられています。

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定されるべき行動と取るべき行動
		数値での発表(津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ) 10m (5m<予想高さ≤10m) 5m (3m<予想高さ≤5m)	巨大	陸域に津波が及び浸水するおそれがあるため、沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する。警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	陸域では避難の必要はない。海の中にいる人はただちに海から上り、海岸から離れる。海水浴や磯釣りなどは危険なで行わない。注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしない。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	

高潮をもたらす台風の大きさと強さ

台風の「大きさ」は、強風域(風速15m/s以上の強い風が吹いているか、地形の影響などがない場合に吹く可能性のある範囲)の半径で表し、台風の「強さ」は、最大風速で区分しています。台風に関する情報の中では、台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で非常に強い台風」のように呼びます。

大きさの階級分け		強さの階級分け	
階級	風速15m/s以上の半径	階級	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な	54m/s以上

- 高い場所へ速やかに避難する
より高い場所へ、より海から遠い場所へ速やかに避難しましょう。
- なるべく徒歩で避難する
車では渋滞や危険を招く可能性があるため、なるべく徒歩で避難しましょう。
- 正しい情報入手する
防災行政無線やテレビ、ラジオなどから正しい情報入手しましょう。
- 河川や海岸には近づかない
地震の発生や、警報・注意報が発表された場合、海岸や河川は危険なため、釣りや海水浴を行っている方は、速やかに海岸から離れ、高い場所へ避難しましょう。
- 避難指示に従う
避難指示が発令されたらただちに指示に従い、安全で高い場所へ速やかに避難しましょう。

地震・火災

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1~2分

- 最初の大きな揺れは約1分間
- まず、身を守る安全確保 手近な座布団などで頭を保護
- すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する

揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦、ブロック塀・自動販売機等に注意
- 津波などの危険が予想される場合は、速く避難

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 出火防止 初期消火 消火器を使う バケツリレー
- 漏電・ガス漏れに注意 余震に注意

ラジオなどで正しい情報を得る

- 大声で知らせる 救出・救護を 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように 避難時には車は極力使用しない 電話は緊急連絡を優先する

協力して消火活動、救出・救護活動

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集 無理はやめよう
- 助け合いの心が大切 壊れた家に入らない



役場各課連絡先一覧

総務課	098-968-5111	交通安全、防犯、防災、不発弾、軍用地、村財産管理、行政相談、ぎ~のくんバス、職員採用に関する事など
企画課	098-968-5100	開発許可申請、景観、屋外広告物、広報誌、米軍施設から派生する問題、統計調査に関する事など
観光商工課	098-968-5125	観光、商工全般、村内のお仕事探し、阪神タイガース宜野座村協力会に関する事など
会計管理室	098-968-5128	宜野座村育英会に関する事
村民生活課	098-968-8501(住民) 098-968-8535(税務)	環境・住民登録・戸籍・税に関する事など
健康福祉課	098-968-3253	障がい福祉、高齢者福祉、介護保険、生活保護、予防接種(成人)、各種健診、健康づくり、国保に関する事など
こどもみらい課	098-968-5024	児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、こども園・保育園、学童、こども医療、親子手帳、乳幼児健診、産後ケア等
農林水産課	098-968-8565	農業全般、畜産、林業、水産業、農道、緑化振興会、堆肥センター、オガコ施設、育成センターに関する事など
上下水道課	098-968-5101(水道) 098-968-5136(下水)	上下水道に関する事など
建設課	098-968-8564	道路占有届、建築工事届、入札参加資格申請、村営住宅に関する事など
学校教育課	098-968-8522	児童生徒の就学並びに転入学、小中学校の通学区域、児童生徒の就学援助に関する事
社会教育課	098-968-8647	社会教育(ふれあい交流センター、公民館講座、文化協会、村子ども会など)社会体育(体育協会)に関する事
議会事務局	098-968-8326	議会及び、委員会運営に関する事など
農業委員会	098-968-5102	農地の貸し借り、農地の転用や売買の認可に関する事など

村公共施設連絡先一覧

文化センター図書館:098-983-2611	文化センターがらまんホール:098-983-2613	博物館:098-968-4378	宜野座村観光協会:098-968-8787
保健相談センター:090-2581-3253	給食センター:098-968-8509	バイトするならエントリー宜野座スタジアム バイトするならエントリー宜野座ドーム 宜野座多目的スポーツ施設:098-968-8780	バイトするならエントリー宜野座アリーナ 宜野座村総合グラウンド:098-968-8809
宜野座村立認定こども園(本園):098-968-8566			
宜野座村立認定こども園(分園・5歳児のみ):098-968-4356			

防災情報・役場各課連絡先